

情 報 公 開 文 書

研究の名称	プロバイオティクスが繰り返す自然流産を予防することが可能か否かに関する後方視的臨床研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学
研究責任者 (所属・氏名)	産科婦人科 米田 哲 (富山大学 産科婦人科)
研究の概要	【研究対象者】 2012年1月から2020年12月までの間に、当科で管理した自然流産歴を有する妊婦さんのうち、同意を得てプロバイオティクス（ピオスリー®）投与を行った妊婦さんが本研究の対象となります。 【研究の目的・意義】 プロバイオティクス投与の目的は、繰り返す自然流産歴を低下させることですが、実際に自然流産を予防しているのか解析します。 【研究の方法】 電子カルテ情報を利用し、妊娠37週未満自然流産率、妊娠34週未満流産率、流産群の有意なリスク因子、妊娠中期の細菌性膣症、子宮頸管長、出生児の情報、絨毛膜羊膜炎、臍帯炎について解析を行います。 なお、個人の名前、住所、ID番号は使用しないため、患者さんが直接特定されることはありません。 【研究期間】 承認日 ～ 2022年3月31日 【研究結果の公表の方法】 有意な結果が得られた場合には、論文を作成し、学会等で発表します。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	前回の自然流産歴、頸管無力症の既往歴、年齢、妊娠分娩歴、たばこ、子宮奇形、ステロイド使用、不育症、妊娠中期の細菌性膣症、妊娠21～24週の子宮頸管長、分娩週数、性別、出生時体重、アプガースコア、新生児合併症、NICU入院率、絨毛膜羊膜炎、臍帯炎を本研究に用いる情報として、電子カルテ記載にある診療記録を利用します。(他機関への提供はありません)
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学 産科婦人科 米田 哲
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7357 FAX 076-434-5036 E-mail s812yone@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 産科婦人科・米田 哲